

会津藩主松平家墓所データ

会津若松市東山町大字石山字墓山【院内御廟】

耶麻郡猪苗代町見禰山【初代藩主保科正之廟所】

指定年月日…昭和62年5月12日

指定面積…158,303㎡

院内御廟内の主な埋葬場所

入之峰…三代・五代・六代・七代・九代藩主【神式】5基

中丸山…四代・八代藩主【神式】2基

二代藩主墓所【仏式】1基

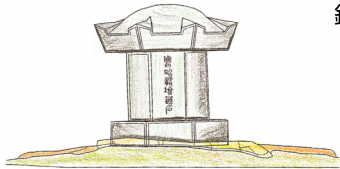
西之御庭…初代正之嗣子正頼【神式】1基

藩主の母・子女【仏式】12基

中之御庭…初代正之五男正純【神式】1基

藩主の母、側室、子女【仏式】8基

藩主の墓【神式】のつくり



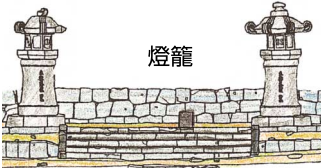
鎮石(ちんせき・しずめいし)

神の霊を永久に一定の場所にとどませ、神を鎮め祀る石のこと。霊神名が篆書体で刻まれている。



表石(ひょうせき・おもていし)

故人の諱(生前の名)と官位・身分などが行書体で刻まれている。



燈籠

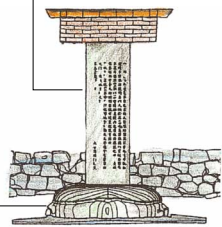
碑石(ひせき・いしぶみいし)

故人の姓名・生立ち・人柄・業績・孝徳を称える文が刻まれている。選文は、当代随一の国学者がこれにあたった。

亀趺坐(きふざ)

亀石の名で親しまれ、上部に碑石が載っている。耳や牙をもつ伝説上の動物。院内御廟では、鎮石や表石の方向を向いている。

拝所



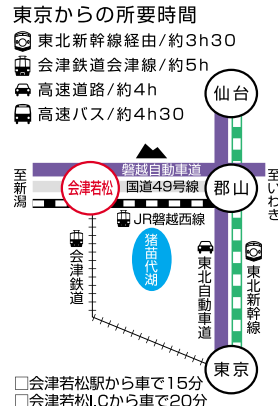
院内御廟関連年表

西暦	年号	できごと
1643	寛永20	保科正之、会津に転封
1657	明暦3	保科正頼没 [院内御廟の始まり]
1669	寛文9	二代正経襲封(在位13年)
1672	寛文12	保科正之の葬地を見禰山に定める 初代藩主保科正之の没62歳
1681	天和元	正容が三代目襲封(在位51年)・正経没36歳
1684	貞享元	二代墓所に碑石が建つ
1696	元禄9	松平姓と葵紋が与えられる
1731	享保16	正容没63歳・四代容貞襲封(在位20年)
1733	享保18	三代墓所に碑石が建つ
1750	寛延3	容貞没27歳・五代容頌襲封(在位56年)
1787~	天明7~	藩政改革の実施
1801	享和元	日新館落成
1805	文化2	容頌没62歳・六代容住襲封(在位5ヶ月) 容住没28歳
1806	文化3	七代容衆襲封(在位17年)
1808	文化5	蝦夷地警備を命じられる
1810	文化7	江戸湾警備を命じられる
1815	文化12	家世実紀277巻成る
1822	文政5	容衆没20歳・八代容敬襲封(在位31年)
1847	弘化4	江戸湾警備を命じられる
1852	嘉永5	容敬没47歳・九代容保襲封(在位17年)
1868	明治元	鳥羽・伏見の戦い 9月会津藩降伏開城
1893	明治26	容保没59歳・大正6年院内御廟へ移葬

Map



Access



会津若松市教育委員会文化課

会津若松市栄町5番17号 TEL0242-39-1305



三代藩主墓所(碑石)

寛永二〇年(1643)保科正之、会津藩を領す。それから14年、明暦三年(1657)。この地、院内村院内山に嗣子正頼の墓を切り開く。

二代藩主正経、続いて三代藩主松平正容の埋葬地として決定後、この場所は歴代藩主の廟所として歴史を刻むこととなった。

壮大な敷地のなかに配された神式の石造物が、荘厳な景観とともに会津藩の想いを伝え続ける。

国史跡
会津藩主松平家墓所